

学生の学修状況調査の集計結果について

本学（武蔵丘短期大学）学生の学修状況等を把握し、教育の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的として、「平均的な1週間の行動パターン」について、昨年と同様に調査を実施した。対象は、共通基幹科目の「健康の心理学」（1年生）及び「健康管理論」（2年生）の履修者とし、時期は2020年7月下旬の授業時間内に、健康教育・時間管理指導の一環として行った。

有効回答数は、1年生が141名、2年生が57名であった。したがって、全学生（1年生163名、2年生113名）に対する回答率は、1年生が86.5%、2年生が50.4%となる。

この調査から、「1週間あたりの授業時間」「1週間あたりの授業外学習時間」「1週間あたりのアルバイト時間」「1日あたりの睡眠時間」「1日あたりのスマホ等使用（インターネット・SNS・You tubeなど）時間」について、集計した結果は次の通りである。

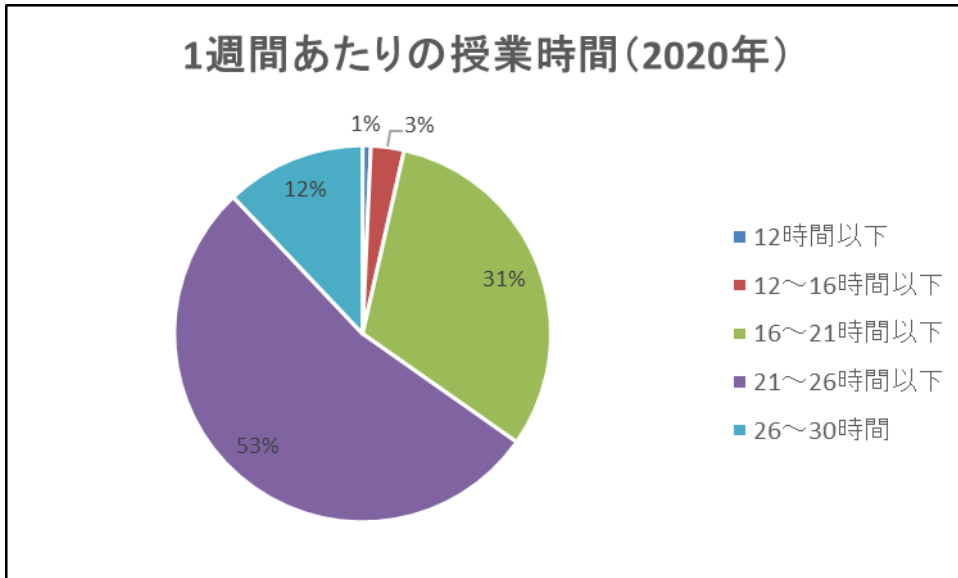
「1週間あたりの授業時間」については、1年生は「21～26時間」が53%と最も多く、昨年度より授業時間数が減少している。これは、新型コロナウイルスの感染予防対策により、実技・実習系の科目を後学期に移行したことが主な原因であると考えられる。2年生は、昨年度と同様に個人差が大きく、授業時間数のばらつきがあることがわかる。また、「授業外学習」については、1年生はある程度は授業外学習を行っているが、2年生になると時間数が少ない学生が多い。今年度は、遠隔授業の実施により、1年生については「調べ学習」の時間が多くなったことも考えられる。そして、「アルバイト時間」については、昨年度と同様に、2年生において、アルバイトを行う学生の割合及び時間数がともに増加している状況である。

「1日あたりの睡眠時間」については、1・2年生ともに、「6～7時間」が最も多く、その「±1時間」といったところで大半を占める。昨年度より、睡眠時間は減少しており、コロナ禍による影響もあるものと考えられる。また、「1日あたりのスマホ等使用時間」については、1年生が「2～3時間」28%、「3～4時間」28%、2年生が「2～3時間」33%、「3～4時間」28%となっている。「6時間以上」という回答も、1年生が13%、2年生が14%と多く見受けられる。このスマホ等使用については、生活習慣の乱れや睡眠不足などを招く恐れがある一方で、学生の興味・関心をひく情報も充実しており、自己管理の上に有効活用することが望まれる。

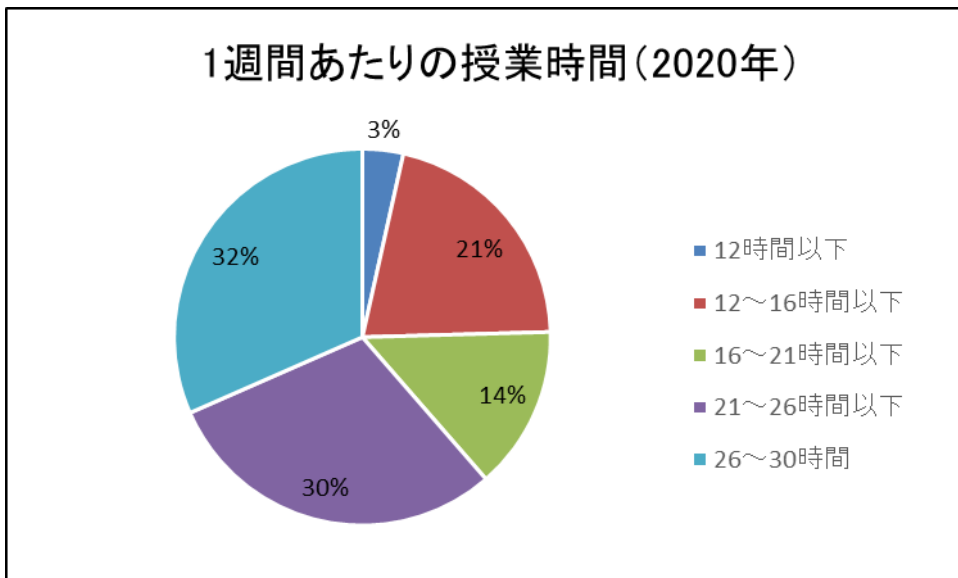
（文責・高橋勇一）

【1週間あたりの授業時間】

1年生

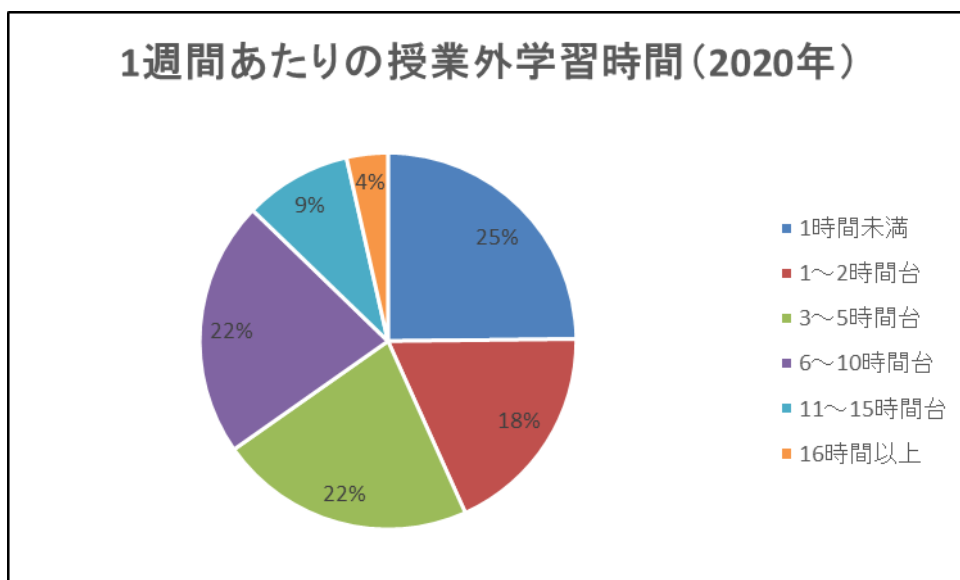


2年生

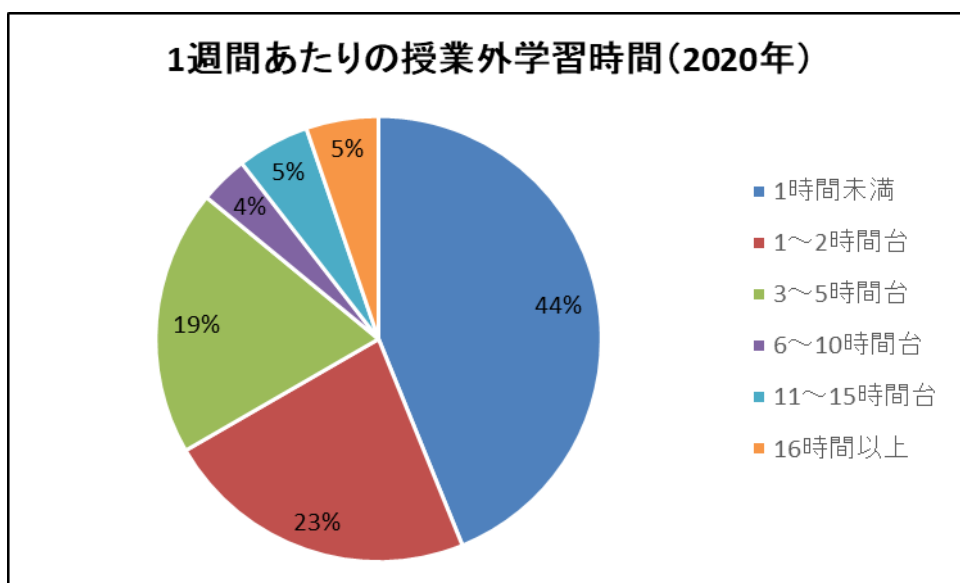


【1週間あたりの授業外学習時間】

1年生

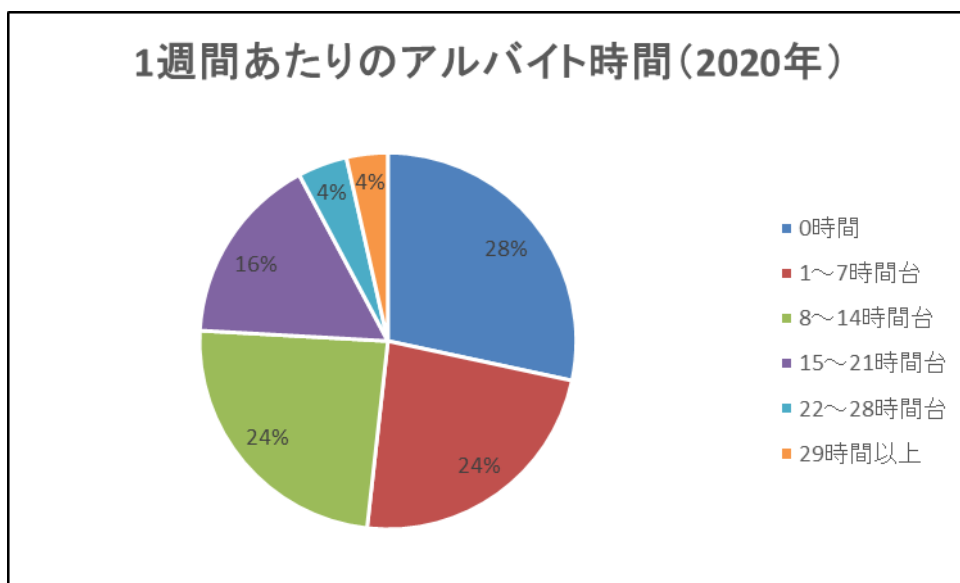


2年生

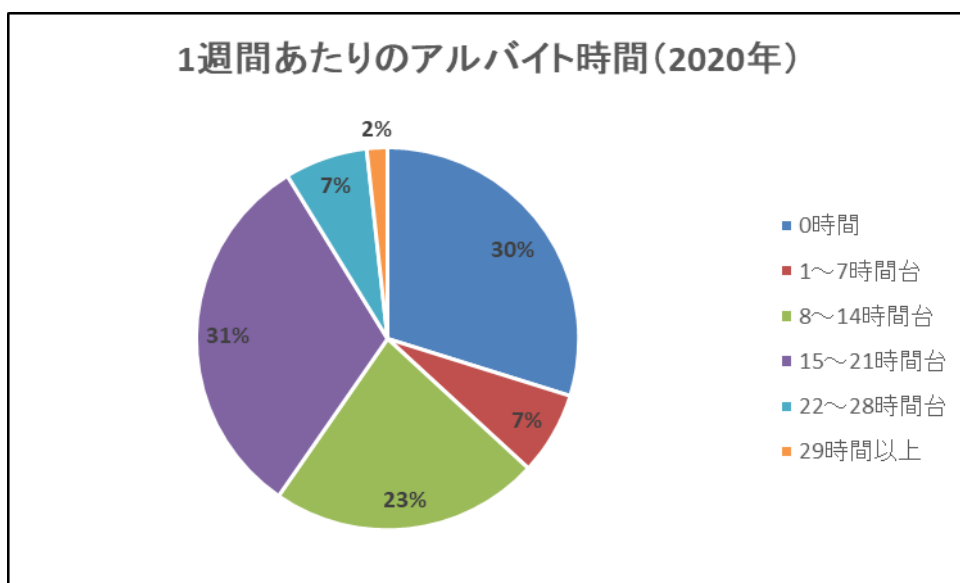


【1週間あたりのアルバイト時間】

1年生

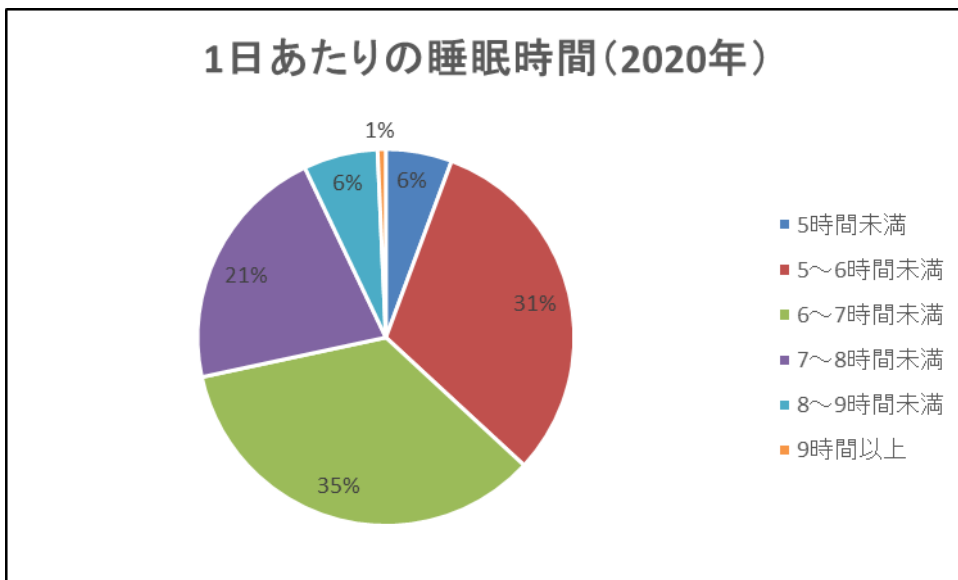


2年生

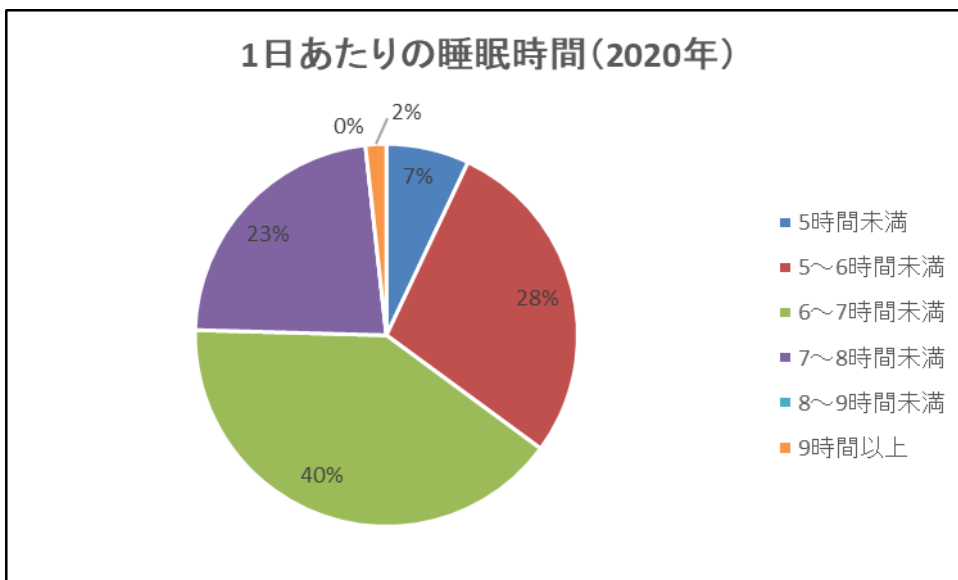


【1日あたりの睡眠時間】

1年生

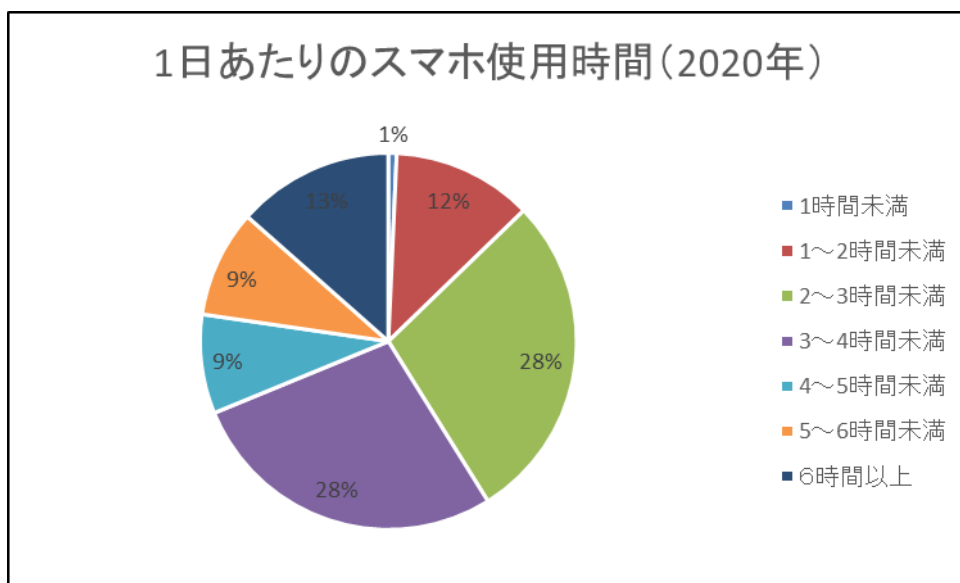


2年生



【1日あたりのスマホ等使用（インターネット・SNS・You tube 含む）時間】

1年生



2年生

